



1月 給食だより






令和5年度1月
鹿屋市立北部学校給食センター

新年明けましておめでとうございます。今年も、みなさんの心と体の栄養となる安心安全でおいしい給食を届けられるよう、北部学校給食センター職員一同がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学校給食の献立の移りかわり

※献立の内容は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの献立レプリカを参考にしています。

<p>明治22年</p>  <p>おにぎり 塩さけ 菜の漬け物</p> <p>山形県の忠愛小学校で提供された初めての給食です。</p>	<p>昭和22年</p>  <p>ミルク (脱脂粉乳) トマトシチュー</p> <p>戦後の給食です。外国からの支援物資(脱脂粉乳など)を使って作っていました。</p>	<p>昭和25年</p>  <p>コッパパン ミルク(脱脂粉乳) ポタージュスープ コロッケ・せんキャベツ マーガリン</p> <p>外国からの支援物資で主食、ミルク、おかずの完全給食が始まりました。</p>	<p>昭和40年</p>  <p>ソフトめん カレーあんかけの具 牛乳 甘酢あえ くだもの(黄桃) チーズ</p> <p>脱脂粉乳から牛乳へと切り替わり、揚げパンや麺類も提供され、おかずの種類が増えました。</p>	<p>昭和52年</p>  <p>カレーライス 牛乳 塩もみ くだもの(バナナ) スープ</p> <p>米飯給食が導入され、メニューが多様化し、献立内容が充実してきました。</p>
--	---	--	--	---

1月24日～1月30日までは、全国学校給食週間!








全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて多くの方に知ってもらい、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められました。北部学校給食センターでは、1月22日～26日に実施します。

給食週間中は、給食の歴史を振り返ったり、給食の役割を考えたりして、給食にたずさわる人たちの苦勞を理解し、感謝の気持ちを持って食事をする機会にしましょう。



受け継ごう日本の食文化 ～おせち料理のいわれ～

おせち料理は、もともと、節日(季節の変わり目)に神様に供えるものでした。今では、正月のみとなりました。おせち料理には、それぞれ意味があり、健康や長寿などの願いが込められています。地域や家庭に伝わる行事食を知ってついたり、食べたりしましょう。

<p>数の子</p> <p>数の子は、にしんの卵です。卵が多いことから子孫繁栄の願いが込められています。</p> 	<p>田づくり</p> <p>田んぼにこいわしの肥料をまいたことから、田づくりと呼ばれ、豊作の願いが込められています。</p> 	<p>こぶ巻き</p> <p>昔は「ひろめ」と呼ばれ祝儀に用いられました。また、「喜ぶ」の言葉にかけた縁起物です。</p> 	<p>えび</p> <p>えびのように、腰が曲がるまで長生きできるようにとの願いが込められています。</p> 
<p>黒豆</p> <p>まめは、まめに働き(勤勉)、まめに生きる(健康)という意味を持っています。</p> 	<p>たたきごぼう</p> <p>ごぼうは、根が地中深くに入ることや豊年や息災の願いが込められています。</p> 	<p>きんとん</p> <p>きんとん(金団)には、財宝などの意味があります。金運上昇への願いが込められています。</p> 	<p>伊達巻き</p> <p>巻物に似た形から文化、学問、教養を持つことを願ったものといわれています。</p> 